



2020
8月

前期の授業の紹介（3コース共通必修科目） 2020年前期の授業が終了しました。今学期は、新型コロナウイルス対策で、全ての授業がオンラインとなり、対面での学びとは異なる部分に戸惑うことも多くありました。この中で、それぞれの授業でどのようなことを学ぶことができたのでしょうか。前期の共通必修科目の授業内容を振り返ります。

科目名	授業内容の紹介
特別支援教育の基礎と課題 (日野先生・中島先生)	令和2年度の教職大学院の授業は、この授業からスタートしました！院生20名全員の必修科目で、特別支援教育の基礎について学びました。これからの時代、校種を超えて特別支援教育は必須です。改めて子どもに寄り添う教育について考える大切な時間になりました。(現職)
授業づくりと学級経営の基礎と課題 (米田先生・竜田先生)	学級経営や授業づくりに関する基礎理論について学びました。また、1人25分間の演習発表を行い、調査した授業実践の理論、これまでに行った学級経営や授業実践について発表しました。(ストマス)
教育経営の基礎と課題 (平田先生・松尾先生)	学校評価や協働づくり、リーダーシップ、コミュニティ・スクール、主権者教育、危機管理対策などの教育経営課題の中から、自ら選択したテーマに沿って、本や論文等を参考にしながら、ペアで課題を進めました。コロナ禍で、二人で直接会って議論ができなかったため、Web会議システムを使って意見交換を行い、原稿をまとめ、発表に備えました。また他の院生が発表する場合は、その発表や先生方の話を参考にしながら、論点を各自でまとめました。(現職)
教職キャリアデザインの基礎と課題 (松尾先生・荻野先生)	色々な側面から、今までのキャリアについて振り返りを行いました。講義が進むにつれ、これからのキャリアについても深く考える時間をもちました。ストマス・現職と、それぞれの立場は違いますが、この講義を通して、キャリアデザインを作成したことで、これから自分達の進むべき道が、少しずつ明らかになっていったように感じました。(現職)
現代的な学力観と授業実践の基礎と課題 (岡先生・佐長先生)	戦後から現代に至るまでの学力観について、各年代のさまざまな論争や特徴的な実践事例、学習指導要領の変遷から学びました。また、佐賀県の学力問題について知り、自身の実践や研究の課題と結びつけながら考えました。遠隔授業の中、ペアごとに協力して実践発表を行い、協議を通して理解を深めることができました。(ストマス)
子どもの学ぶ意欲の基礎と課題 (井邑先生・中尾先生)	この授業では、井邑先生からは心理学の理論的な部分を、実務家教員の中尾先生からは、現場での貴重な経験を聞くことができます。院生がテーマを決めて発表をする時間もあり、院生同士でも学ぶところが多くあると感じました。(ストマス)
教育課程編成の基礎と課題 (佐長先生・岡先生)	教育課程の在り方や編成等について学びました。当たり前とされている常識を問い直し、複数の理論を足場にしながら教育課程を見ていくことで、現状を把握したり、新たな可能性について考察したりすることができました。(ストマス)

オンライン授業の感想

大学に登校し、教室で仲間と勉強をし、授業後には授業に関係のあることやないことを話しながら次の教室に移動する…。そんなごく当たり前のキャンパスライフをイメージしていた矢先に始まったオンライン授業。パソコン等の設定がうまくいかずに焦ったり、声が聞き取りにくくて困ったりすることはありますが、一番はやはり対面ならではの、侃侃諤諤の議論ができないのが残念です。しかし、アフターコロナになってもオンラインの形態が活用される場面は増えていくでしょう。そう考えると、いい経験ができているともいえます。時間が有効に使えろと考えることもできます。でも、やっぱり人と会いたい！話したい！それが本音です。(現職)